



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「初めに、神は天地を創造された」

聖書(創世記1章1節)

牧師 河合裕志

聖書を開くと、そこには66の様々な文書が収められていることがわかる。その先頭に載っているのがこの創世記。世界の始まりを記したものだからこれはまさに冠頭を飾るのにふさわしい。

「初めに」、元のヘブライ語では「ベレーシート」、これが元々の原典では書名になっている。「初めに」、これはそもそもの一番の最初に、いまだ宇宙も世界も存在しない時に、歴史もまだ始まっていない時に、ということ。そんな大昔に神による天地創造は成ったという。

「天地」は万物、森羅万象ということ。天とそこにある太陽、月、星々。地球とそこにある植物、動物、人間。海とそこにいる生き物……。これら全部が神の創造の産物とする。これがどのような順序で造られて行ったかはこのあとの方に記されている。ここで「創造する」という言葉は「バーラー」。これは人間が何かを造るという場合の造るとは別の言葉で神の創造に限って使われる。「無からの創造」といった意味合い。

次の2節には創造前の様子が記されている。「地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた」。何かしら暗い感じ、カオスの状態。その上を「神の霊」が動いていたということは何かが始まることを予感させる。

果たして「神は言われた。『光あれ』」。

こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた」。神による創造の手段は「神の言葉」によることが伺われる。「○あれ」と神が言葉を発するとそのように成る。それまで存在しなかったものが存在するようになる。神の言葉は絶大と言わねば。

「光」(オール)、これが神による第1日目の作品。これは後の製品である太陽とは違った光。これが暗闇の世界を明るく照らし出す。これを見て神は「良し」(トープ)としてその出来映えに大満足。この「良し」は後続の作品にも繰り返すべられる。

宇宙はビッグバン、大爆発によって形成されたと見るのは科学的見方。聖書は神による創造の産物と見る。これは宗教的・信仰的見方。科学的探究は結構。一方で私達は一切の根源に神の意思を見る。神の良い意志によって万物は存在する。あなたという一個の人間存在もたまたま偶然にあるのではなく、神の「生きよ」という善意志に基づいてここにある。そして人は生み出してくれた創造者を礼拝賛美するところに生きる喜び、感謝、目的があるというもの。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時～7時